



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社土木管理総合試験所
代表者名 代表取締役社長 下平 雄二
(コード番号：6171 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 ストラテジックIP事業部門長 中島 壮弘
(TEL. 03-5846-8385)

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 2 月 13 日に公表しました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,057	373	378	240	16.90
今回実績（B）	3,841	304	309	148	10.47
増減額（B－A）	△216	△68	△68	△91	－
増減率（％）	△5.3	△18.4	△18.2	△38.0	－
（ご参考）前期中間期実績 （2025 年 12 月期中間期）	3,566	239	244	137	9.68

2. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）個別業績予想と実績値との差異 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,386	－	220	142	10.01
今回実績（B）	3,287	189	212	95	6.73
増減額（B－A）	△99	－	△8	△46	－
増減率（％）	△2.9	－	△3.7	△32.7	－
（ご参考）前期中間期実績 （2025 年 12 月期中間期）	3,002	125	157	102	7.17

3. 差異の理由

個別業績の差異の理由

売上高、営業利益および経常利益につきましては、いずれも前回公表の予想をわずかに下回る結果となりました。中間純利益につきましては、長野市において計画していた新本社ビル建設構想の取りやめを決議したことに伴い、建設仮勘定（基本設計料等）として計上していた 58 百万円を減損損失として特別損失に計上したことなどから、前回予想を 46 百万円（32.7%）下回る結果となりました。なお、この減損損失の計上は、決算日後の取締役会決議（2026 年 7 月 15 日）に基づくものですが、建設資材価格の上昇等の要因が期末時点で既に存在していたため、修正後発事象として第 2 四半期決算に反映されております。

連結業績の差異の理由

売上高につきましては、前回公表の予想をわずかに下回る結果となりました。利益面につきましても、売上の減少に加え、個別業績で述べた新本社ビル建設取りやめに関連する減損損失 58 百万円を特別損失として計上したことなどが主な要因となり、親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想を 91 百万円（38.0%）下回る結果となりました。

4. 通期業績予想について

2026 年 12 月期の通期業績予想につきましては、当第 2 四半期において新本社ビル建設構想の取りやめに伴い減損損失 58 百万円を特別損失として計上いたしました。一方で、期間損益の安定化および財務基盤の強化を目的とした投資有価証券の売却により、第 3 四半期連結会計期間における特別利益として計上する見込みとなっており、第 2 四半期の特別損失を上回る特別利益の計上を見込んでいること、およびその他の要因を含め現在精査中であることから、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました数値から変更はございません。今後、業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかにお知らせいたします。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上